



第50回地球大学アドバンス 2012.3.19 (月)

[コミュニティ・セキュリティの再構築] シリーズ ⑩

3.11後の日本からはじまる新たな「地球基準」の文明

20世紀の金融・株主資本主義を超える「公益資本主義」の理念を唱導し、バングラデシュやザンビアなど世界各地で真の豊かさを実現する社会開発事業を展開される原文人氏は、「自らの伝統価値に目覚めた311後の日本は、世界に希望の制度を輸出する国になりうる」と説きます。

ゲスト

原文人 氏

欧米で活動する事業経営者

国連承認非政府機関

アライアンス・フォーラム財団代表理事



企画・司会

竹村 真一

京都造形芸術大学 教授 Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

アメリカ型の資源・エネルギー大量消費型の文明が中国・インドなど新興国の数十億に広がれば、地球が持続不可能なことは自明。震災と原発事故から、自らの省エネ・リサイクル技術の重要性、陰翳礼讃と「もったいない」美学の地球的意味に気づいた日本人は、先進国と新興国に「この先に向かうべき姿」「追求すべき新たな価値」を世界に提示しうる唯一の国である、と。

また3.11と並んで大きな価値転換の津波となったリーマンショック、世界中で拡大する経済格差と中東の政情不安を受けて、世界は経済合理性と投資基準の新たな指標を求めています。国家にとっても、国民の病気や気候災害の増加によって“見かけ上”増大するGDPや経済成長率（同時に社会保障医療費や環境対策・インフラ維持など国のコストも増大）に代わる、新たな国づくりの指標が必要になってきています。

そろそろアメリカ型資本主義のものさしから自由になって、3.11後の日本として自らの価値尺度と美学にもとづく新たな経済成長ビジョンを提示すべきではないか？それが世界にとっても貧富拡大と環境破壊に代わる「希望の未来」を描くための、次代の地球社会のOSとなるだろう。

“ポスト3.11後のコミュニティ・セキュリティ”をテーマに討議してきた地球大学アドバンス、2011年度の総括として、こうした地球公益資本主義のビジョンを縦横に展開していただきます。

開催概要

日時：2012年3月19日(月曜日)

18:00 受付開始 / 18:30 開演 / 20:30 終了

企画・司会：竹村真一

Earth Literacy Program 代表
エコツェリア・コンテンツプロデューサー
地球大学アドバンス 総合企画・コーディネーター
京都造形芸術大学教授

会場：新丸ビル10階「エコツェリア」

地図：<http://ecozeria.jp/access.htm>

定員：50名(先着順：定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法：事前登録が必要です 以下のURLからお申し込みください
<http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費：2000円

ただし、エコツェリア会員企業に所属の方は無料です
(照会いたしますので、名刺または社員証をお持ちください)

■お問合せ先■ 大丸有環境共生型まちづくり推進協会 事務局(新丸ビル10階) TEL:03-6266-9400(代) FAX:03-6266-9401 ウェブサイト <http://ecozeria.jp/>

主催・運営：大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツェリア協会)

*丸の内地球環境倶楽部は、大手町・丸の内・有楽町地区において環境・CSR活動の推進や技術開発等に携わる実務者のコミュニティ作りを目的とした緩やかな会員組織です。

協賛：株式会社大林組、鹿島建設株式会社、清水建設株式会社、大成建設株式会社、株式会社竹中工務店、戸田建設株式会社

企画・運営：Earth Literacy Program

地球大学アドバンスとは？

竹村真一がモデレートする、地球環境に関するさまざまな問題や解決法を議論しながら、21世紀の新たな地球観を提示するセミナーです。環境・資源・生物多様性・まちづくりなど、さまざま分野の第一線で活躍する研究者や実務家をゲストに招き、毎回、2時間にわたって発表と参加者のみなさまも交えた討議を行っています。2007年から毎月一回、新丸ビル10階のエコツエリアで開催されており、今年度までに40回を超えるセミナーが開催されています。

2011年度[コミュニティ・セキュリティの再構築]シリーズとは？

地球大学アドバンスは年度毎にテーマを設定しており、今年度は[コミュニティ・セキュリティの再構築]がテーマです。

このテーマは、3.11東日本大震災が露わにした、現代社会の潜在的な脆弱性とリスクを明らかにしながら、日本社会、特に私たちが住んでいる東京の自己変革の方向性を討議するために設定しました。扱う内容は、起こりうる災害の規模と対策、ポスト原発時代のエネルギー安全保障、帰宅・通勤困難者問題、減災情報システム、都心部のタウンマネジメントとコミュニティ・セキュリティデザインなどです。また、地震や津波に対する防災・減災だけではなく、今後の気候変動や資源制約への適応力も備えた“変動に強い都市と国家を再構築する”という広い視点も、このテーマに含まれています。

過去の地球大学アドバンス[コミュニティ・セキュリティの再構築]シリーズのタイトルとゲスト

詳細はWEB [<http://www.ecozzeria.jp/earth/>] をご覧ください。

第41回 2011.6.30(木)

2011年度基調講演“3.11から未来へ”

基調講演：竹村 真一

第42回 2011.7.25(月)

首都圏大震災— 予防減災への課題

ゲスト：高嶋 哲夫氏(作家、『M8』『TSUNAMI』『東京大洪水』『巨大地震の日』(全て集英社)など執筆)

第43回 2011.8.22(月)

“3.11”後のエネルギー政策をめぐって

ゲスト：植田 和弘氏(京都大学大学院経済学研究科・大学院地球環境学教授)

第44回 2011.9.26(月)

企業の災害対応能力とBCP(事業継続計画)

ゲスト：山村 武彦氏(防災・危機管理アドバイザー 防災システム研究所所長)

第45回 2011.10.24(月)

日本経済再生計画— 震災とデフレを超えて

ゲスト：藻谷 浩介氏(日本政策投資銀行 参与 『デフレの正体』著者)

第46回 2011.11.28(月)

待ったなし!食糧安全保障—“食糧争奪”の現在

ゲスト：柴田 明夫氏(資源・食糧問題研究所 代表 『食糧争奪』著者)

第47回 2011.12.19(月)

東北の食と農—21世紀型の生命地域産業の創生にむけて

ゲスト：藤田和芳氏(大地を守る会 会長), 楠本修二郎氏(カフェ・カンパニー(株) 代表), 古田秘馬氏(六本木農園 代表)

第48回 2012.1.23(月)

感染症と文明—共生への道

ゲスト：山本太郎氏(長崎大学医学部・熱帯医学研究所教授)

第49回 2012.2.20(月)

原発との共生—福島事故の真実とこれから考えるべきこと

ゲスト：田坂 広志氏(ソフィアバンク代表 元内閣官房参与(原発問題担当))

地球大学講義録 発売中!

竹村 真一+丸の内地球環境倶楽部

日本経済新聞出版社 刊

ISBN: 978-4532167967

石油にも原発にも依存しない21世紀のエネルギー安全保障をどうデザインするか? 洪水や津波、海面上昇…沿岸の低い土地に大都市が集中する日本の水害リスクにどう対処するか? 3人に1人が高齢者となる時代、交通弱者や災害弱者を増やさない都市と社会のあり方とは? エネルギー、気候変動から都市災害、水と食、生物多様性まで、第一線の専門家・実務家をゲストに行われた、地球大学の講義ライブを一冊に。

